



5

Photo 4 市内外の特産品やグルメが並び、多くの人で賑わう会場。5 新コスモスレディの濱田あゆみさん（左）と南蘭真子さん（右）。6 22日には約千発の花火が打ち上げられ、夜桜との共演が来場者の目を楽しませました



4

### 新コスモスレディお披露目も まきばの桜まつり 2014

3月22日と23日、まきばの桜まつりが開催されました。多彩なイベントや味覚を求めて約2万人が来場。コスモスレディの退任式と選任式も行われ、新コスモスレディの2人にタスキが引き継がれました。濱田あゆみさんは「生まれ育った大好きな小林の魅力をとくさんの人に知ってもらいたい」、南蘭真子さんは「持ち前の元気で小林を盛り上げます」と意気込みを語りました。

6



3

### 健康長寿を目指そう 健康フェスティバル開催

3月1日、こばやし健康フェスティバルが文化会館で開催されました。約800人が参加する中、健康長寿を目指す「地域医療・健康都市」宣言や健康講演会などを実施。みらいクリニック院長の今井一彰さんと女優の音無美紀子さんが登壇し、今井さんは「医師不足は、医師を増やすだけでなく、病気を予防することも大切」と地域医療の課題について話しました。



1

Photo1 劇をとおして、検診を受けることの大切さを伝えました。2 音無さんは、「検診を受け、病気を早期発見することが大切」と話しました。3 「鼻呼吸で、多くの病気を予防できる」と「あいうべ体操」紹介する今井さん

2



学習会の様子。リサイクル品は各地区ごとに日程が決まっています。指導員の指示に従って分別決められた日、時間帯に出してください

### リサイクルの指導と啓発を 分別指導員に50人を委嘱

4月3日、第7期リサイクル品分別指導員委嘱状交付式が中央公民館で開催されました。新たに、各地区の50人に指導員を委嘱。リサイクル集積場で、リサイクル分別の指導と啓発を行います。式終了後に、学習会を行い、ビン、缶、古紙類などの分別方法について学びました。

### 西諸土地改良区の設立総代会 畑かんで農業振興の決意新た

3月28日、西諸2市1町で推進する畑地かんがい事業の施設管理と水利用を行う西諸土地改良区（川崎明理事長）の設立総代会がガーデンベルズ小林で行われました。各地区の総代や来賓など約100人が出席。来年度の一部供用開始に向け、平成26年度の事業計画や予算が承認されました。



浜ノ瀬ダムから配水し、西諸2市1町へ水の安定供給が可能になる畑地かんがい事業。平成27年度に一部地域で供用が始まります



楠本幸二代表取締役社長は「地元の農家に協力をいただきながら、小林産の牛を全国に広めたい」とあいさつしました

### 工場建設し雇用拡大に期待 サンキョーミートと立地協定

3月27日、市はサンキョーミート株式会社と立地協定を結びました。牛と豚のと畜と食肉加工を行っている同社霧島ミート工場内に牛カット工場を増設し、牛肉加工品の生産量を拡大。また、この協定により26年度に20人、28年度までには23人の合計43人の新規雇用が生まれる予定です。

### 九州北清(株)が100万円寄付 市民の福祉のために活用

3月27日、九州北清(株)が市に100万円を寄付しました。同社の川井雄一会長が、子どもの貧困の新聞記事を読み、今回の寄付を決意。高橋俊一代表取締役社長は「開業して今年で20年。ようやく地元の企業として根付いてきた。市民の福祉に少しでも役立ててほしい」とあいさつしました。



高橋代表取締役社長から市長へ寄付金の贈呈。いただいた寄付金は、地域福祉の増進のために活用します

### 財産権利を守る成年後見制度を学ぶ

3月8日、15日、21日にそれぞれ野尻、須木、小林地区で成年後見講座が開催されました。NPO法人市民後見センターみやざきが市の委託を受けて開催。53人が受講し、判断能力が十分でない人の契約や財産などの権利を守る成年後見制度について理解を深めました。



### ジオサイトを巡り写真撮影楽しむ

3月22日、霧島ジオパークをテーマにした写真講座「カメラを持って出かけようジオサイトピクニック（市主催）」が開催されました。市民ら26人が参加し、(株)宮崎南印刷のカメラマン松浦周一郎さんの指導を受けながら、風景写真を撮影しました。



### 出の山公園に鮎5000匹を放流

4月3日、出の山公園の池に鮎5000匹が放流されました。この鮎は豊富な湧水のPRにつなげてほしいと県水産試験場が寄付したもの。池を管理運営する出の山土地改良区西田達也理事長は「市民の憩いの場所としてできることをしていきたい」と話していました。



### 小林高校駅伝部に30万円を寄付

4月9日、小林ライオンズクラブが小林高校駅伝部に30万円を寄附しました。小川真会長は「全国大会の走りに感動した。駅伝部は市民の誇りです」とあいさつ。選手を代表し同校3年の廣末卓さんが「全国大会で結果を出せるよう頑張る」と決意を述べました。



### 民間と連携し農産物PR 都内飲食業から職員受け入れ

4月8日、全国で居酒屋「塚田農場」など141店舗を展開するエー・ピーカンパニー（東京都）と社員派遣の協定を結びました。行政と民間の人事交流は市、同社ともに初。派遣されたのは、入社3年目の藤本由佳さん。2年間、商工観光課で農産物のPRや販路拡大などを担当します。



調印式に出席した天野裕人営業本部長（写真右）は「これをきっかけに連携を深め、新しい事業にも挑戦していきたい」と話していました

### 強く優しい看護師を目指して 准看護学校に20人が入学

4月10日、西諸医師会立小林准看護学校の入学式が行われました。内村大介校長が「多くの困難があると思うが、歴史と伝統のある我が校でがんばってほしい」と式辞。新入生を代表し森亜沙香さんが「日々努力し、強くやさしい看護師になりたい」と決意を述べました。



新入生は同日、小林西高衛生看護科にも入学し、小林西高に通いながら、看護についての知識と技術を学びます

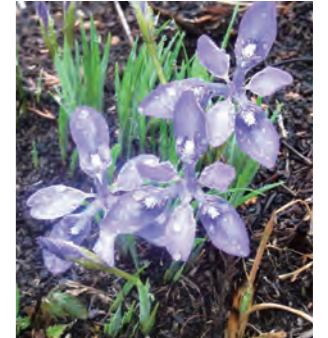


### 貴重なエヒメアヤメを守ろう 小林で全国シンポジウム開催

3月29日、国の天然記念物「エヒメアヤメ」を守る全国シンポジウム（大藪良一実行委員長）が中央公民館で開催されました。自生地のある5県6市の保護団体など125人が参加。宮崎植物研究会の南谷忠志会長の講演、各地区の保護団体の活動報告、パネルディスカッションなどを通し、住民を巻き込んだ保護や、エヒメアヤメを生かしたまちおこしなどについて学びました。



Photo1 全国の保護団体が意見を交わしたパネルディスカッション。2例年より多くの株が開花したエヒメアヤメ。3翌30日には、見ごろを迎えた花の現地観察会を2カ所で行い、その1つである勧請丘公園（北西方）ではエヒメアヤメまつりを開催



### 乳牛部門が復活、144頭成果競う 小林市総合畜産共進会

4月13日、第9回小林市総合畜産共進会が西諸畜連で行われました。和牛4部門に111頭、乳牛4部門に33頭が出場。和牛は二木伸之さんの「まり」（育成2類）が、乳牛は志水和幸福さんの「KSファーム スレンダー ゴールドオア」（乳牛1類）がグランドチャンピオンを獲得しました。【結果・敬称略（順位順に掲載）】 ■和牛の部▽雌子牛 = 坂口正美、山田福治、鳥越浩、坂口正美、中村幹男▽去勢子牛 = 立山健二、濱崎一正、濱崎一正



4乳牛の各部門で優等1席を獲得した受賞者、デイリープリンセス、関係者ら5和牛部門グランドチャンピオンを獲得した二木さんと「まり」

▽育成1類 = 中島ちどり、中別府完爾、森田直也  
▽育成2類 = 二木伸之、中津清次、中別府完爾  
乳牛の部▽乳牛1類 = 志水和幸福、内木場和憲、内木場和憲▽乳牛2類 = 谷口俊文、熊ノ迫哲也▽乳牛3類 = 温水洋志、鶴野真▽乳牛4類 = 石神達郎、谷口俊文  
種牛団体▽和牛の部 = 野尻町畜産振興会、枝肉共励会▽肉牛の部 = 山下真信、環境衛生共励会▽養鶏の部 = 大畑勲  
乳質改善共励会▽乳牛の部 = (有) ダイワファーム